

！ 特定外来生物の 防除にご協力ください！

「オオキンケイギク」や「アレチウリ」は、日本古来の植物を駆逐して繁殖する等、生態系に重大な影響を及ぼすおそれがある植物です。ご自宅の庭や畑などで見つけたら、根から引き抜き、種が飛ばないように速やかにビニール袋等に入れて密閉し、燃えるごみとして処分してください。（他人の敷地には無断で侵入しないでください。）

「クビアカツヤカミキリ」は、サクラ、モモ、ウメなどのバラ科樹木に産卵し、ふ化した幼虫が内部を食い荒らし、枯らしてしまう昆虫で、市内で樹木被害が拡大しています。

クビアカツヤカミキリの成虫を発見した場合は、踏みつぶすなどにより捕殺してください。

また、クビアカツヤカミキリの幼虫によるフラスの発生を発見した場合は、下記担当窓口までご連絡ください。



オオキンケイギク

■ オオキンケイギクの特徴

- ・開花期 5～7月
- ・高さ 30～70cm
- ・葉の両面に粗い毛がある
- ・葉の形はへら状
- ・黄橙色の頭状花で、直径 5～7cm
- ・花びらの先端には不規則な 4～5 つのギザギザがある



アレチウリ

■ アレチウリの特徴

- ・開花期 8～10月
- ・結実期 9月
- ・長さ 数～10 数 m
- ・花は白色で小さくたくさん集まる・果実に鋭いとげがあり複数が集まる・茎の部分から独立した葉を生やす・バネのように丸まったツルがある・日当たりの良い場所を好む・一年生植物



クビアカツヤカミキリ

■ クビアカツヤカミキリの特徴

- ・成虫の体長 2.5～4cm
- ・成虫の出現時期 6～8月
- ・成虫の特徴 全体的に光沢のある黒色 首周りが赤色
- ・フラスの特徴 フンと木屑が混ざったもので、褐色のカリントウ状で比較的硬い

※特定外来生物以外にも外来生物は身近な場所で存在しているので注意が必要です。幅広く生態系等に被害を及ぼすおそれのある生物を生態系被害防止外来種といいます。環境省で紹介している生態系被害防止外来種リストに掲載されているニワウルシ（シンジュ）、シンテッポウユリ（タカサゴユリ）及びフランスギク等が秩父地域で確認されています。

担当窓口

- 秩父市役所 生活衛生課 ☎25-5202
- 大滝総合支所 地域振興課 ☎55-0861

- 吉田総合支所 地域振興課 ☎72-6083
- 荒川総合支所 地域振興課 ☎54-2114